



学校便り 琢磨

令和3年度 第20号 R3.11.4 三豊市立詫間小学校

栄光を讃える！

敬称は略します。

10月30日(土)。第52回香川県小学生選抜陸上競技大会(6年)が、丸亀市のPikaraスタジアムで開催されました。本校から、三観地区の大会で上位入賞した6年生が出場しました。この大会での入賞者は以下のとおりです。おめでとうございます。

【6年男子4×100mリレー】

第1位 53秒44 西川 麗王、妹脊 心、大山 斗亜、資延 侑梨弥(金メダル)

【6年女子4×100mリレー】

第2位 56秒38 山口 有愛琉、大坪 愛依、松村 みそら、山下 稀歩理(銀メダル)

【6年女子走高跳】

第6位 1m28cm 山地 愛子

【6年男子100m】

第7位 13秒21 資延 侑梨弥



令和3年度緑化ポスター原画・書道コンクール

【書道の部】

入選 3年 詫間 萌奈



おめでとうございます。

校外教育スポーツ奨学生の募集

公益財団法人砂原児童基金から「令和4年度 校外教育スポーツ奨学金事業 奨学生募集」の案内が届いております。塾や習い事等の月謝等に使用できる給付型奨学金だそうです。詳しくお知らせになりたい方は、「砂原児童基金」で検索いただくか、学校までお問い合わせください。

赤い羽根共同募金が集まりました！

10月27日水曜日の昼休みに、児童会役員さんは校長室で、三豊市共同募金委員会の方に、全校児童の皆さんが持ってきてくれた「ドラえもん募金箱」を手渡しました。

児童会役員さんの働きかけで、集まった募金箱は、大きな段ボール箱2箱分もありましたので、児童会役員さんが手渡したのは、一人一つずつの募金箱でした。

詫間小学校の今年の募金総額は、**32,945円**でした。ご協力ありがとうございました。



【教職員の異動について】

石井陽子調理員が、都合により、10月末日をもちまして退職されました。2か月という短い間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございました。

真鍋校長の独り言 その12

ガラスは割れるからいいんだ！

今朝、ガラス屋さんが体育館の入り口のガラスの修理に来てくださいました。内側からですので、何か堅い物が当たったのでしょうか。割れてはいないのですが、ひびが入っています。最近のガラスは、本当に強くなりました。野球のボールが当たったくらいでは割れない強化ガラスが多くなってきました。ですから、学校にガラス屋さんが来られることも、めったにありません。

私が小学生の頃のガラスは、本当に割れやすかったのです。あまり勢いのない野球のボールでも、ガラスに当たるとパリーン、ガシャーんと、とても嫌な音を立ててガラスの破片が飛び散っていきました。時には、ガラス窓にもたれかかっただけでもパリーン、ガシャー、ほうきの柄が少しコツンと当たっただけでもパリーン、ガシャー。私は、子どもの頃は（今もかもしれませんが）「落ち着きのない子」でしたので、ガラスをたくさん割りました。1年生の時に、1日に2枚も割ったことがあります。その時は、さすがにこっぴどく叱られました。確か、1週間くらいトイレに行く時以外は席から離れてはいけないような罰を受けたと思います。6年間、1枚もガラスを割ったことがないというクラスメートもたくさんいるのに、なぜか私は、人の何倍もガラスを割ってしまうのです。それは、学校だけに限ったことではありません。家のガラスも何枚も割ってしまいました。例えば、家でブロック塀にボールを投げていて、少しそれてガラス窓に当たってしまいパリーン、ガシャー。自転車を出そうとして、入り口近くのガラス窓にペダルが当たってしまいパリーン、ガシャー。もっともひどいのが、机の上から飛び降りた瞬間にその振動で、ガラスの扉が外れて倒れてパリーン、ガシャー。今、思い出しましたが、ガラスだけでなく食器もたくさん割りました。

あの嫌な音を何回、何十回聞いたことか……。その度、私は、たくさんの大人からひどく叱られるのです。そして、してはいけないことがどんどん増えていってしまったのです。

一人しょげていると近所に住んでいる祖母が話しかけてきました。

「また、ガラスを割ってしもたんか。けがをせんかったからよかったの。」

と言う祖母に、私は、

「ガラスが鉄でできとったら、こんな思いをせんでもええのに。ガラスが割れるからいいんのや！」と、文句を言いました。すると祖母は、

「いや、ガラスは、割れるからいいんじゃ。そのうちお前にも分かる。よく覚えとけ。ガラスは、嫌な音を立てて割れるからいいんじゃ。」

「分からん！分からん！分からん！」

と泣き叫ぶ私に、祖母は続けて言いました。

「今は分からんでも、いつか分かる。ガラスは、嫌な音を立てて割れるからいいんじゃ。世の中には、音を立てると壊れていくものもある。嫌な音は、お前に何かを気付かせてくれとるんや。」

私は、これ以上話しても無駄だと思い、その後は反論する（抵抗する）のをやめました。

あれから50年。ガラスは、鉄でもないのに強くなりめったなことでは割れない、50年前の私からすると理想の世の中となったわけです。そして、あの時に分からなかった祖母の言葉の意味を私はようやく理解することができました。ガラスは、割れたのではなく確かに私が割ったのです。もしも、ガラスが鉄でできていたとしたら、どんなに乱暴に扱っても割れることはありません。ガラスが割れた原因は、どう考えても自分の不注意です。想像力もなかったのでしょうか。「もし、ここで、こうすれば、こうなるかもしれない。」と考えるだけの……。ガラスは、嫌な音を立てて、それを私に教えてくれていたのではないのでしょうか。

ところで、あの時祖母が言った「音を立てずに壊れていくもの」って何でしょうか？このことについては、これから詫間小学校の子どもたちと一緒に考えてみたいと思います。